



勝林寺
寺報

譬如田光禪書齋
雲霧之下品無間

猿信見歌大慶喜

即横超哉五悪趣

イングリッシュ・セシターのカールも三歳を過ぎ、やつと少し落ち着いてお姉さんぼくなってきたように思います。しかし、早朝に裏の城山公園を散歩していると、いきなり走り出し、フリスビー犬のように勢いよくジャンプしてパクッと飛んで逃げようとするアブラゼミを取り、バリバリと食べてしまします。大概のことは私の“やめーー”の命令に従う良い娘なのですが、これだけはやめられませんなーー”と、言うことを聞きました。悪趣味です。

かくいう私も先日、オリンパス OM-1という三十五ミリフィルムカメラをパクリと買い取つてしましました。一枚の写真を撮るのにフィルムを入れて、“ちょっと動くなよ。ハイ、チーズ。パシャ！”と撮つて、写真屋さんにもつていつて現像してもらい、三日後に取りに行つたら、ピンぼけだつた。というような時代のカメラです。すでに、一秒十枚連写のデジタルミラーレスを使つていますので、実際にフィルムを入れて写真を撮つてみようとは思いませんが…。でも今、かなり困難かもしれないけれど、フィルムをどこかで探し求めて、入れてみたいという欲求があつあつとわいてきています。アブラゼミをバリバリ食べるほどではないにしろ、悪趣味かもしません。悪性さらに止め難し”と親鸞聖人が嘆かれたほどの深刻なことでもないと思います

が、子供のころから引きずる趣味は捨てがたいものがいくつもあります。

NHK の BS プレミアムの番組に「まいにち 養

老先生」ときどきまる」があります。これは解剖学者養老孟司さんが鎌倉の私邸で愛猫「まる」と週刊する静かな時間の中でも、いろいろ人生の知恵が話されているお気に入りの番組でした。しかし、愛猫「まる」が昨年暮れに十八歳（人間の年齢に換算すると九十歳前後になるのだそうです）で死んでしまい、番組名も「まいにち養老先生、ときどき…2021 夏」という名前になつて先日新たに放送されました。養老孟司さんは小さいころから虫取りが大好きな少年だったそうで、解剖学者としての根っこはそこにあるようです。といふか、今も少年のころと同じように虫を取り、瓶に入れて持つて帰り、足を広げて背中にピンを突き刺して標本をつくり、観察することを続けておられるようです。ちらりと映つていた先生の標本室には数限りない虫たちの死骸が、きれいに箱に収められ並べてありました。「まる」もいなくなつて一人その部屋に座つていると、大切な研究も悪趣味に思えたのかもしれません。今年の六月四日の「虫の日」には、近くのお寺で虫の供養のために法要をひらかれたのだそうです。

大好きなセミ。大好きなカメラ。大好きな虫。人それに他人から悪口を言われても、走り回つて取りたい趣味は楽しいものです。しかし、そのままセミ地獄に落ちてしまつては大変です。最後には阿弥陀様が横ぎまに悪趣を断つてくださいます。でも、「即」だから今すぐなのかな？それはちょっと困る気がするのですが…。

（文責 住職）



九月 勝林寺 予定

一一日 (日) 岩出育夫宅 五〇回観
一九日 (日) 尾松正人宅 三回観

二〇日 (月) 富島義明宅 三一・七回観
二三日 (木) 秋彼岸会

合同役員会

今年も、いつものように彼岸会をお勤めします。安心してお参りしていただける日が戻つてることを期待して、全て門徒の皆様にご案内いたします。

＊尚、現在発出中の「緊急事態宣言」が延長されて、当日も発出中の場合は、寺族のみで勤めさせていただきます。ご了承ください。

日時 九月二十三日 (木) 秋分の日
午後二時より
内容 お勤め
法話 (当山 住職)

*ライブ配信いたします

＊尚、現在発出中の「緊急事態宣言」が延長されて、当日も発出中の場合は、寺族のみで勤めさせていただきます。ご了承ください。

二五日 (土) 立脇昭広宅 二回観
二六日 (日) みのりを聞く会
二八日 (火) 斎藤貴明宅 三回観
一九日 (水) 兵庫教区 公聴会
（敬称略）

ご案内

長く続いた雨の後に厳しい暑さがもどつてきました。それでも季節は確実に歩を進め、ススキの穂が風になびき、そそかしい彼岸花が咲いていました。

戦没者百四名の名前を読み上げる声とみなで正信偈をお勤めする声を、雨の音と蝉の声が後押ししてくれました。

八月八日、二年ぶりにご遺族をお招きして「全戦没者追悼法要」を當ませていただきました。当日は、朝から厳しい暑さとなり、お参りの方の体調を案じておりましたが、開始一時間前から「恵みの雨」が降り、過ごしやすくなりほつとしました。開会までの間、雨を見ながら、あちこちでお話がはずみます。勝林寺を縁としたお参りの方の楽しそうな様子を、私はとても豊かな気持ちで眺めておりました。



